

議会 だより



第16号

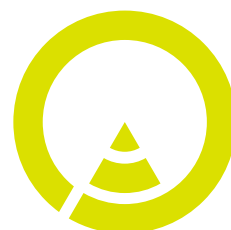
平成29年7月12日
発行

響き渡る清々しい歌声

6月22日 議会定例会に先立ち、白川郷学園9年生が、日頃の取り組みを知ってもらおうと、役場議事室において「信じる」ことの大切さと感謝を述べ、曲「信じる」を歌い上げました。

CONTENTS

6月議会定例会	2	議会1年間の活動実績	9
6月行事結果	4	広報委員会研修報告	11
6月定例会 一般質問	5	歴史のとびら	12
議会の予定	6・8	議会探検隊募集	12
ふれあい懇談会開催のご案内	7	編集後記	12



白川村

shirakawa village

議 会 広 報

6月議会定例会は、平成29年6月20日(火)から6月22日(木)の会期で開催し、議会報告、選任同意、村道の認定、専決処分、条例の改正、平成29年度補正予算を慎重に審議し原案のとおり可決しました。

◆6月議会定例会

議会報告(4件)

◎平成28年度飯島観光開発(株)の経営状況報告

総売り上げは、対前年度比1.3%減だったものの、食事の売り上げは5.5%増となった報告を受けました。

◎平成28年度白川村継続費精算報告書(一般会計)の報告

旧平瀬小学校舎再生活用事業(南部地区文化会館)を2カ年計画(H27~28年)で実施したため、総事業費143,742千円の精算について報告を受けました。

◎平成28年度白川村継続費精算報告書(公共下水道特別会計)の報告

特定環境保全公共下水道事業(白川クリーンセンター)を2カ年計画(H27~28年)で実施したため、総事業費194,000千円の精算について報告を受けました。

◎平成28年度白川村繰越明許費繰越計算書(一般会計)の報告

一般会計の5事業723,255千円を平成28年度から平成29年度に繰越を行った報告を受けました。

*継続費とは：

数年度にわたる事業につき、あらかじめ議会の議決を得ておき、変更を加える場合のほかは、会計年度ごとの議決を必要とせずに支出される経費。

*繰越明許とは：

地方自治法で認められている歳出予算の繰越制度。歳出予算のうち経費の性質上または予算成立後、事情によって年度内に支出が終らないと見込まれるものをあらかじめ議会の議決を得ておいて翌年度に繰越して支出できるようにする制度。

選任同意(2件)

◎白川村農業委員会委員の任命

同意

白川村農業委員

大田 忠広さん(49歳 荻町)

大田 剛之さん(43歳 荻町)

中村 秀司さん(65歳 荻町)

福田 麻衣子さん(35歳 荻町)

佐藤 一弘さん(58歳 荻町)

山下 良樹さん(53歳 長瀬)

長田 正二さん(68歳 長瀬)

中田 満幸さん(51歳 荻町)

大泉 信吾さん(55歳 荻町)

下方 基樹さん(35歳 鳩谷)

山腰 博文さん(62歳 飯島)

東 雅之さん(58歳 小白川)

(任期 H29.7.20~H32.7.19)

◎白川村教育委員会委員の選任

同意

白川村教育委員

東屋 淳さん(49歳 木谷)

(任期 H29.7.1~H31.9.30)

村道路線の認定(1件)

◎福島第1線(その他村道、延長

225.0m)を追加しました。(福島第一トンネル)

専決処分

◎白川村税条例等の一部を改正する条例の専決処分

▼地方税法等の改正が平成29年3月31日に公布されたことに伴う専決処分

◎過疎地域自立促進特別措置法の施行に伴う白川村固定資産税の特例に関する条例の専決処分

▼過疎地域自立促進特別措置法の改正が平成29年3月31日に公布されたことに伴う専決処分

*専決処分とは：

地方自治法で認められている村長の議決処分制度。会議を開くことができないとき、招集する時間的余裕がないことが明らかであると認めるとき、村長は議決すべき案件を処分することができる。(案件内容に制限あり)専決処分を行ったとき、村長は次の会議において議会に報告し、その承認を求めなければならぬ。

条例の一部改正（3件）

◎白川村職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正

▼国の法律の改正に伴い、職員の職業生活と家庭生活との両立を支援するため、介護に関する休暇制度等勤務条件を整備するために条例を改正しました。

◎白川村職員の育児休業等に関する条例の一部改正

▼国の法律の改正に伴い、職員の職業生活と家庭生活との両立を支援するため、育児に関する休暇制度等勤務条件を整備するために条例を改正しました。

◎白川郷民俗館の設置及び管理に関する条例の一部改正

▼施設名称を「重要文化財旧遠山家住宅」に変更するために、題名と条例を改正しました。

平成29年度補正予算（6件）

◎白川村一般会計補正予算（第2号）

補正額 42,260千円増額
 （補正後、3,171,954千円）

【歳入】

※主な内容（100万円以上）

- 村税
 - ▼平成29年度個人村民税の確定により、9,438千円を増額しました。
 - ▼平成29年度の固定資産税の賦課額の決定により、19,003千円を増額しました。
- 分担金及び負担金
 - ▼職員派遣負担金により、3,434千円増額しました。
- 県支出金
 - ▼（商工費）岐阜県清流の国岐阜推進補助金により、1,955千円を増額しました。
- 寄付金
 - ▼社会福祉費指定寄付金により、1,000千円を増額しました。

総務費

▼財産管理費として、電算管理臨時経費2,528千円を増額しました。

民生費

- ▼社会福祉総務費として、人件費7,955千円を減額しました。
- ▼老人福祉費として、リフト者購入補助事業5,078千円を増額しました。
- ▼児童福祉総務費として、人件費8,328千円を増額しました。
- ▼児童福祉施設費として、管理一般経費2,136千円を増額しました。

衛生費

- ▼清掃費として、リサイクル保管庫運営経費1,221千円を増額しました。
- ▼簡易水道特別会計繰出金2,185千円を増額しました。

農林水産業費

▼林業費として、人件費1,090千円を減額しました。

商工費

▼商工総務費として、人件費1,733千円を増額しました。

商工業振興費として、企業誘致対策関連経費1,300千円を増額しました。

▼観光費として、白山開山1300年記念事業3,872千円を増額しました。

土木費

- ▼土木総務費として、人件費3,029千円を増額しました。
- ▼道路橋りょう費として、県単改良事業12,152千円を増額しました。
- ▼公共下水道費として、公共下水道特別会計繰出金6,445千円を増額しました。

消防費

▼常備消防費として、人件費1,261千円を増額しました。

教育費

- ▼事務局費として、人件費1,194千円、義務教育学校推進事業3,000千円を増額しました。
- ▼公民館費として、コミュニティ助成事業4,900千円を増額しました。

【歳出】

※主な内容（100万円以上）

予備費
▼予備費17,604千円を減額しました。

◎白川村国民健康保険特別会計
補正予算(第1号)

○事業勘定の部
補正額 843千円減額
(補正後、234,857千円)

【歳入】

※主な内容(100万円以上)なし

【歳出】

※主な内容(100万円以上)なし

○直診勘定の部

補正額 増減なし
(補正後、119,400千円)

【歳入】

※主な内容(100万円以上)なし

【歳出】

※主な内容(100万円以上)総務費

▼直診勘定人件費として1,275千円を減額しました。

予備費
▼予備費1,339千円を増額しました。

◎白川村簡易水道特別会計補正
予算(第1号)

補正額 3,145千円増額
(補正後、67,045千円)

【歳入】

※主な内容(100万円以上)繰入金

▼一般会計繰入金2,185千円を増額しました。

【歳出】

※主な内容(100万円以上)総務費

▼簡易水道一般管理費として、過年度消費税納付金3,145千円を増額しました。

◎白川村温泉開発特別会計補正
予算(第1号)

補正額 45千円
(補正後、35,745千円)

【歳入】

※主な内容(100万円以上)なし

【歳出】
※主な内容(100万円以上)なし

◎白川村公共下水道特別会計補
正予算(第1号)

補正額 6,677千円増額
(補正後、247,277千円)

【歳入】

※主な内容(100万円以上)繰入金

▼一般会計繰入金6,445千円を増額しました。

【歳出】

※主な内容(100万円以上)総務費

▼特定環境保全公共下水道事業委託料及び工事請負費5,395千円を増額しました。

▼小規模集合排水処理施設修繕料を1,050千円増額しました。

◎白川村介護保険特別会計補正
予算(第1号)

○保健事業勘定の部

補正額 1,500千円増額
(補正後、200,500千円)

【歳入】
※主な内容(100万円以上)なし

【歳出】
※主な内容(100万円以上)地域支援事業費

▼介護予防、生活支援サービス事業負担金1,500千円を増額しました。

6月
行事
結果

行事	出席者
1日(木) 岐阜県町村議会議長会臨時総会・評議員会	議長
5日(月) 議会運営委員会	全員
高山土木・農林事務所要望懇談会	全員
6日(火) 白山山開き	正副議長 新合議員
9日(金) 合掌造り保存財団監査	大田忠広議員
11日(日) 白山ホワイトロード開通式	正副議長 全員
白川村消防操法大会	全員
13日(火) 合掌造り保存財団理事会	川田・大田忠議員
14日(水) 議員懇談会	全員
村観光協会総会	議長 全員
20日(火) 学園9年生の合唱披露	全員
第2回議会定例会(初日)	全員
22日(木) 第2回議会定例会(最終日)	全員
23日(金) 例月出納検査	高桑議員
26日(月) 老運ふれあい運動会	議長

一般質問

村政を問う



- 6月議会では、5議員から村政を問う一般質問がありました。
- 一般質問とは、議員が村の行財政全般にわたって、村長等に疑問点をたずねるものです。
- 次ページからは、それぞれの一般質問について要約を掲載しています。

■ 大田 貢

..... 6 ページ

- ◎ 世界遺産合掌集落への交通渋滞対策について
- ◎ 高齢者の免許返納について

■ 大田 忠 広

..... 7 ページ

- ◎ 白川村若者等通勤就職者助成金交付事業について

■ 新 谷 保 雄

..... 8 ページ

- ◎ しゃくなげ荘移転について

■ 高 桑 徹 司

..... 9 ページ

- ◎ 急傾斜地崩壊危険個所等の対策について

■ 森 崎 敏 克

..... 10 ページ

- ◎ 白川郷バスターミナルと全面通行止めについて
- ◎ 白川郷ブランド、白川村特産品について

どうする？交通渋滞の緩和

関係各所との連携強化を図ります

向観光振興課長



大田 貢 議員

◎今年度5月の世界遺産萩町集落までの渋滞は白川郷ICから東海北陸道本線まで繋がる状況でした。本当に交通渋滞の対策は出来ているのか。又、渋滞時における庄川ICから国道156号の利用やトイレの情報等を一般車両の観光客に提供できないのかお伺いします。

▲今年度の4月29日～5月7日の9日間の公的駐車場の1日平均利用台数は大型が94台、普通車1,665台、二輪車123台という中で、5月4日は東海北陸自動車道飛騨トンネル中央付近まで6～7キロの渋滞となったと聞いています。



渋滞する白川郷IC口交差点付近

今年度は4月29日から人員を増員、4日と5日はガードマン延べ39名、観光協会、保存財団、観光振興課、ネクスコ中日本と連携を密にして対応しました。

対策内容は多言語によるホームページ等の周知、各サービスマニアでの案内充実を図り、五箇山ICと庄川ICの積極的利用を働き掛けております。

人での対策が大切。渋滞中に店舗のトイレ利用もありご迷惑をおかけしたことも聞いております。今後周知の強化を図ります。

更により矢印表示が無くならず、北上する車の直進と左折の車で渋滞が起きたことから、交通対策委員会を通じて警察へ信号機のコントロールの要望をしております。

村の高齢運転者対策は？

自主返納者への支援を検討します

岩本総務課長、近藤村民課長

◎75歳以上の高齢運転者の起こした死亡事故は全体の1割と言われていますが、車がなければ生活に支障のある田舎では、病院や買い物など家庭の負担が増えます。免許証の自主返納を進めるためには「まめな力」や、いかに「高齢者外出支援事業の強化が必至です。村の対策は？」

理由としては、最寄りの警察署へ本人が出向かなければならない等があるようです。

このことから、白川

▲本年5月の白川村内の免許所有者者は1,124名で内65歳以上の方は37名で約3割を占めています。あわせて自主返納については本年5月現在で0件。

村では自主返納よりも自然失効が多いとの事です。地元駐在には村内高齢者から問い合わせがあるようですが、平日に警察署へ出向くには大変であるという声が多いそうです。

日	行事	出席者
3日(月)	東京要望活動(～5日)	全員
5日(水)	全国町村議会広報クリニック	大田議員 高桑議員
11日(火)	飛騨農業共済事務組合議会 議員懇談会	議長森崎総長 全員
12日(水)	村奨学資金給付生選考委員会	森崎総長
13日(木)	リニア岐阜県期成同盟会総会	議長
14日(金)	(株)共立メンテナンスホテル地鎮祭	全員
20日(木)	議会臨時会 例月出納検査	全員 高桑議員

7月行事予定

「これは危ない」と思われる高齢者ドライバーがいれば通報のお願いをしているところですが、現在通報は無いとのこと。又、本年1月～5月現在、本村の65歳以上高齢者ドライバーの人身事故は0件で他町村と比べて優秀とのこと。

又、高山市では自主返納者へ色々なサービスがあるようです。今後交通安全協会白川支部や関係課、関係機関とも協議をしながら自主返納の促進を図っていきます。



大田 忠広 議員

村外通勤者の対象年齢の拡大を望む

地域の要望があれば検討してまいります

向観光振興課長

Q 白川村若者等通勤就業者助成金交付事業について3点お伺いします。

①白川村では若者等通勤就業者助成金交付事業がありますがこの事業の利用状況について

②また、その利用条件のひとつとして第2条4項に「若者とは、満40歳未満の者をいう」とありますが、40歳を超えた方で通勤している村民も見えになります。対象年齢を引き上げる考えはありますか

③この事業の効果、あるいは受給者からの意見等調査は行っていますか

A ①この事業は平成23年から実施しており、直近4年の実績について報告いたします。

平成26年度受給者は11名（高山市7名、南砺市2名、高岡市1名、富山市1名）

平成27年度受給者は13名（高山市8名、南砺市2名、砺波市1名、高岡市1名、富山市1名）

平成28年度受給者は12名（高山市7名、南砺市2名、砺波市1名、射水市1名、富山市1名）

平成29年度受給者は14名（高山市8名、南砺市3名、飛騨市1名、砺波市1名）

②この制度は定住人口の増加を図るため、村外に安定的に就労する若者を対象にするというところで課長会議にて検討し、年齢については40歳以上の方は生活も定着し、収入についてもそれなりに所得がある年代であろうとのことで、40歳未満を対象としました。

この助成の対象年齢には意見等、要望はありましたが、平成27年3月に議員懇談会にご相談させていただいて、勤務地が40kmの距離条件の中で、対象外であった「高山市莊川町」と「南砺市旧上平、平」を対象としました。その際に制度の年齢についても改めてご説明させていただいております。

この事業は若者等へのソフト支援策であり、対象年齢の引き上げについては、社会情勢等を鑑み、必要であれば検討するものであると考えております。

③平成24年度から26年度については給付者への通勤状況についてのアンケートを行いました。その後、ニーズについてはその都度検討させていただき、定住促進に努めていきたいと考えております。

平成29年度

ふれあい懇談会

開催のご案内

広報委員会委員長 大田 忠広

恒例となっております「ふれあい懇談会」を、議員全員参加をもって左記の要領にて開催させて頂く事となりました。今年は、議員に「暮らしの中で思うこと」を聞かせてください！という事で、皆さんと一緒に地域の課題について語りたいと考えております。これからの村づくりの基盤となる地域コミュニティについて、一緒に考えましょう。

日時 8月28日 月曜日 19時30分

場所 南部地区文化会館（旧平小）

日時 8月29日 火曜日 19時30分

場所 白川村文化交流施設
（道の駅白川郷様隣り）



新谷 保雄 議員

高齢者福祉の充実と安全を！

安心・安全な福祉の提供を図ります

谷藤基盤整備課長、近藤村民課長

Q 近年集中豪雨・ゲリラ豪雨の発生が多くなり、平成28年8月の台風10号で岩手県岩泉町で河川がはんらんし、高齢者施設の入居者9名が亡くなっています。白川村においても昭和51年に御母衣ダム建設以来の最大ゲート放流量1,500tを記録。平成16年の台風23号では3,273tの最大流入量を記録するが放流量は1,385tに調整されたことがあり、決して他人事とは思えません。

- ① 新デイサービスセンターの建設場所はさくら山荘付近なのか、また、規模について
- ② ショートステイの提供について
- ③ 職員不足の解決策について
- ④ 御母衣ダムの想定外出水時の避難訓練について

- ⑤ 堆積土砂の搬出継続要望はするののか
- ⑥ さくら山荘への進入路の濁流防止壁等の設置はできるののか

A ① さくら山荘南側の稗田区所有土地4,578.6㎡を借地し建設予定しています。施設規模は現在概算設計に至っていない段階ですが、他のデイサービス



旧平瀬診療所隣のデイサービスセンターしゃくなげ荘

の事例や村民ニーズを踏まえた施設づくりをいたします。
 ② ショートステイ事業につきましては、現在さくら山荘で4床が整備されていますが、デイサービス移転に伴いさくら山荘ショートステイ4床を特別養護老人ホーム用に変更し、新デイサービスセンターに4床と6床のショートステイのベッドを設置する方向で検討しています。
 ③ 職員不足につきましては、全国的な問題でもあり、岐阜県では外国人の介護人材の受入を進めています。今後、県及び飛騨3市1村、ハローワーク共同による対策協議会を立ち上げ検討を進めています。又、愛知慈恵会と連携を図りながら人材の確保、育成にも対策を進めて行く方向で検討を始めています。
 ④ 避難訓練に関しては、職員の訓練として年に2回実施しています。

避難場所として白弓スキー場食彩館を第1避難場所として考えているが災害の内容や状況に

じて適切な公共施設への避難を実施します。消防団の訓練では机上でのシミュレーション訓練を行っています。

⑤ 6月の土木要望にも搬出要望をあげておりましたが、堆積状況を確認しながら随時要望していきます。

⑥ さくら山荘前の河川護岸は濁流防止壁については、県管理河川で整備済で、計画洪水流量は2,700㎡/sであります。昭和51年、平成16年に発生した災害時の放流量が約1,500㎡/sであることから余裕のある計画洪水流量になっていきます。このことから現在は護岸工事の計画は無いと県から聞いております。

8月行事予定

日付	行事	出席者
2日(水)	東海北陸同盟会・東海環状同盟会総会	議長
14日(月)	白川村成人式	全員
18日(金)	岐阜県町村議会議長会 評議員会	議長
22日(火)	飛騨市議会との交流会	全員
28日(月)	村民ふれあい懇談会(南部地区)	全員
29日(火)	村民ふれあい懇談会(白川地区)	全員



高桑 徹司 議員

急傾斜地崩壊危険箇所等の対策について

目指すは、みんなで守ろう地域の安心・安全

谷藤基盤整備課長、板谷副村長

◎土石流危険渓流箇所や山腹崩壊危険地区をはじめ、様々な危険箇所において村では、危険度ランクも付けて地域防災計画を策定しております。今回は、急傾斜地崩壊危険箇所について質問をさせて頂きます。現在、ランクⅠからⅢの中に58ヶ所が急傾斜地崩壊危険箇所として指定されており、特に一番危険とされるランクⅠの15ヶ所の中には、危険区域に指定を受けている場所が6ヶ所あります。今回、私を取り上げるのは鳩谷字中長の所で、延長110m高さ80m傾斜度43度でランクⅡに指定されている、宮坂宅の裏であります。数年前に法面の工事を頂き、「危険な箇所が一つ減ったな。」と喜んでおりましたが、今年の春先に法面を見ると、山肌がかなり荒れておりカシノナガキクイムシによる大きな被害木が斜面に横たわっております。また、近隣の方に伺うと、「木の根っこ部分が斜面麓の倉庫近くまで落ちてきている。」

と、お話を頂きました。私が考えるには、こうした現況は、高速道路の工事が始まって以降ではないかと推察します。鳩谷八幡神社の麝香杉の湧水の多量の塩化物イオンの検出例から見ても、融雪剤散布による影響で斜面の土壌環境が悪化し、樹木雑木の成長が阻害され枯れ木の倒木等につながっているように考えます。一般的に、こうした集落麓の傾斜地は、民地であることが多いと推察しますが、個人では中々出来ない事例も多いと思います。村としてどう考えるかをお聞かせ下さい。

▲平成14年の調査では、岐阜県内に急傾斜地崩壊危険箇所が7,458ヶ所があり、平成27年3月末現在で、1,069ヶ所が急傾斜地崩壊危険区域に指定されております。白川村においても、危険区域に指定された6ヶ所は急傾斜対策工事を行っております。宮坂宅裏は、平成24年に県治山事業により法面保護工事を行っております。先日、鳩

谷の墓地裏等へ現場確認をしたところ、工事前と比べると落石は大きく減少している状態ではありましたが、宮坂宅裏を含め様子を見たいと思います。危険区域として指定される条件としては、国道の近くであるとか民家が5軒以上というのがあり、今回議員がお尋ねの場所は該当しないので村の単独事業となります。融雪剤等の塩害については、まだまだ調査と検証に時間を要すると思いますが、待受け擁壁の整備等含めて、関係機関への要望もして行きたいと考えております。こうした危険箇所への対応については、これまでも各区長さんから連絡や要望を受けております。議員が心配される民地であっても、区の要望であるなら村として前向きに対応したいと思えます。ゲリラ豪雨が当たり前のようになってきた昨今では、村内のどこで被害が出てもおかしくありません。村民一人ひとりの眼で監視して頂き、被害を最小限で抑えるように村も取り組みたいと考えます。

議会1年間の活動実績が
まとまりました

平成28年1月1日から12月31日の活動実績を報告します。

◆定例会(3月、6月、9月、12月) 本会議 8日間 (会期39日間中)

◆臨時会(1月、3月、4月、11月) 4日間

◆委員会

総務産業常任委員会 5回
特別委員会 3回
議会運営委員会 4回

◆自主的会議

議員懇談会 11回

◆議会広報

議会だより 4回
(定例4回)

◆地区懇談会

白川・平瀬校区 各1回

◆議員交流

3回
(関市議会、飛騨市議会、南砺市議会)

◆議長公務

出張 168日
行事 59回

◆議員公務

行事等 145回

バスターミナル運営と交通対策の今後について

地域と共に努力を重ね邁進します

向観光振興課長、板谷副村長、倉教育長



森崎 敏克 議員

白川郷バスターミナル建設の協議は、議会において平成24年の世界遺産特別委員会から協議して参りました。伝統的建造物群保存地区内に整備する点では、危惧する声も聞かれる中、荻町地内の全面通行止めが決定事項としてあったと記憶しております。しかし、現在の状況は当初伺っていた事とは、隔たりがあるように思えます。そこで、荻町集落内への観光車両全面通行止めに向けての現在の状況、周辺飲食店等の予約バス駐車場確保の現在の状況、バスターミナル周辺の歩行者の安全確保についてお聞かせ下さい。

荻町集落の交通対策は、平成13年と14年の社会実験にはじまり、交通対策委員会でも多くの協議を重ね課題解決に取り組んで参りました。平成21年9月からの大型バス

規制に始まり、以後平成24年の荻町区大寄合において、南側のみだしま、北側の診療所跡地を南北の駐車場として位置づけ、付帯する様々な事案について村と協議を行っていくという事を決議頂きました。以後、平成25年2月に全面交通止めを見据え公安規制についての勉強会をはじめ、平成26年に自主規制とするものの公安規制については、前向きに検討するという事で現在に至っております。バスターミナルについては、当初バスの駐車スペースが15台の計画でしたが、公安委員会による安全確保に対する指導や既存車庫の利用等もあり、結果7台の駐車スペースに留まり路線バス増便の要望もあつた事から、4月からは付近の観光事業者のバスは停まっていない状況です。また、ガードマンが交差点から農協前になったのは、警察からの指導によるものです。バスターミナル周辺の安全確保についても、荻町区や交通対策委員会と協議を重ね、歩道の整備をはじめとした諸問題解決に取り組む、公安規制についても勉強会を実施しながら時間をかけ取り組みたいと考えております。

いくつある？白川郷ブランド認定品

認定第1号を待ち望んでおります

向観光振興課長

平成26年より、村の資源を活用した思いあふれる商品や伝統的な商品に対して、「白川郷産品」として認定し他の商品との差別化や村のイメージ向上を目的に、白川郷産品認定制度をスタートさせました。今では多くの商品が認定を受けているようですが、伝統的な商品である白川民謡で使う笠という事も聞いております。新しいところへ目線を向けるのも大切ですが、民芸品等の技術の伝承が失われるのは残念でなりません。この白川郷産品認定から一歩抜きでた「白川郷ブランド認定品」の状況についてお聞かせ下さい。

白川郷産品の認定を受けた方は、現在26の事業者と個人が認定されております。商品については、じ・ば工房の

商品112品と51品の合計163品が認定を受けております。この白川郷産品の認定は、白川郷ブランド委員会で審議をおこなっております。委員会では、白川村の地域資源の活用は当たり前としながら、更なる創意と工夫による付加価値の高い商品に対して認定しようとして「白川郷ブランド」として、今年5月にブランド要綱を定めたところであります。5月に区長会を通じ募集をはじめましたが、現在のところ応募はありません。また、議員ご指摘の伝統工芸品は作り手や継承者もない状況ですが、記録映像等をもとに復活してくればと願っております。いずれにしても担当課としては、心のこもった村を象徴するような商品が生まれるよう取り組みたいと思っております。



議員研修
報告書

「データで読み解く人口減少対策」

大田 忠広

- ①医療保険制度の財源と給付から検証する地域・世代・保険者間格差
 - ②介護保険制度の財源と給付のあり方と地域包括ケアシステム
- 上記2つの保険制度について前回に引き続き報告いたします。



- ①社会保障のうち医療保険の歳出（国の負担）は増加の一途をたどり、逆に社会保険料収入は給付ほどの増加がみられない。国の負担は毎年1兆円規模で増加し財源の多くは借金に依存しています。では、その社会保障制度とは何か。

困ったとき	利用できる制度	どうなる
<ul style="list-style-type: none"> ・病気になってしまった。 ・医療費がいっぱいかかってしまう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・公的医療保険制度があるので 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己負担が安くすみ、安心して医療が受けられる。
<ul style="list-style-type: none"> ・年をとってしまい働けない ・働けないから生活できない 	<ul style="list-style-type: none"> ・公的年金制度があるので 	<ul style="list-style-type: none"> ・年をとっても年金給付を受けられるので生活できる。
<ul style="list-style-type: none"> ・仕事をしていただけ、会社が倒産して、職を失った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・雇用保険制度があるので 	<ul style="list-style-type: none"> ・失業給付を得られるので、安心して生活できるし、職を探せる。
<ul style="list-style-type: none"> ・寝たきりになってしまい、介護サービスの費用がいっぱいかかる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・介護保険制度があるので 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己負担が安くすみ、安心して介護が受けられる。
<ul style="list-style-type: none"> ・年金も失業給付ももらえず、生活に困っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活保護制度があるので 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康で文化的な最低限度の生活が送れる。

改めて表にしてみると、日本の皆保険制度による社会保障制度について、国民が安心して生活を送るためのものであります。

この制度を継続していくには、当然負担をする（支える）者が必要で、人口減少による対策を考えて行かなければ、生きていく上での最重要点の「安心して暮らす」を実現できなくなります。

※次号議会広報紙へ続きます

活動報告

土木・農林事業要望活動を行いました

6月5日(月)に、白川村民の安全性と快適性の確保を図り、都市との交流促進による産業の活性化や医療・福祉等の生活環境を支えるため、また、県営中山間事業や治山事業の推進のために、高山土木事務所と飛騨農林事務所へ両岐早県議会議員、上手議長以下議員6名と板谷副村長以下職員4名、村議会事務局で要望に行き参りました。

当日は、高山土木事務所長以下8名と飛騨農林事務所長以下9名に出席をいただきました。

要望については以下のとおりです。

○土木要望

1. 国道等の整備
(国道156号の整備促進7項目、国道360号の整備促進、
県道白山公園線の整備促進)
2. 河川砂防事業の整備促進2項目

○農林要望

1. 県営事業の整備促進
 2. 治山事業の整備推進
 3. 養豚振興対策支援
- その他5項目の要望





みなさん、こんにちは。今回は、昭和11年から12年の扉を開けてみましょう。第二次世界大戦への布石のように、この時代は軍事色と国による国民統制が色濃くなった時期です。そんな昭和11年の三大事件とは？東京上野動物園で起きた「黒豹脱走事件」。動物園近くのマンホールに潜んでいたところを捕獲。

「安部定事件」は、一緒になることが叶わない女性が起こした、ちょっと怖い殺人事件。ここで問題①もう一つの事件は何でしょうか？東京も含め記録的な大雪であった2月、昭和維新を掲げた皇道派青年将校21名が、1438名の兵を率いて、クーデター未遂事件です。来春受験生の皆さん、きっと入試にも出るかもしれません。しっかり調べて下さいね。さて問題②、話題は変わって大相撲のお話です。5月場所、関脇だった力士は、11連勝で優勝し、翌年には横綱に昇進します。この時に69連勝と5場所連続全勝優勝という大記録を立てた力士は誰でしょうか？昭和12年の7月7日に後の日中戦争のきっかけとなる盧溝橋事件が起きました。「日本軍の計画的陰謀説」や「中国共産党謀略説」等、日中戦争の謎とも言われているようです。そんな時代背景によって政府は、「国民精神総動員実施要領」を發表します。ここから、国民統制が強くなり「国家の為に自己犠牲を尽くす精神運動」が始まり、「贅沢は敵だ！」「進め一億火の玉だ」「欲しがりません勝つまでは」という標語が生まれました。私は、戦後約20年経ってから生まれましたが、親が昭和12年生まれという事もあってか、昔はこうだったとよく聞かされた記憶があります。時を同じくして銀座では、女子店員15人が昼休みを利用して千人針を依頼し、全国へと広がって行きました。白か黄色のさらしに5銭や10銭の硬貨を赤糸で縫い、腹巻状にしたもので出征兵士が常に肌身離さず身につけていました。因みに、5銭硬貨は4銭（縦線）を超える。10銭硬貨は9銭（苦戦）を超える意味と言われておりました。当時の東京の小学校教師の給料76円という中で、寿屋（現サントリー）からあるウイスキーが8銭で発売されました。問題③、現在も愛飲されているこのウイスキーの名前は何でしょうか？大人の皆さんには、美味しい生ビールの季節になりました。飲みすぎには気を付けて頂きながら夏を乗り切ってください。それでは次回までごきげんよう。（高桑 徹司）



編集後記

白川村議員として活動も3年目に入り、住みよい村づくりを目指し、理想と現実に葛藤しています。さて、本年4月から広報委員長を仰せつかりました。何分、不慣れでございますが村民皆様へ白川村議会を分かりやすくお伝えし、楽しみのある紙面づくり

が出来るよう頑張っております。まずはご挨拶とさせていただきます。何卒、よろしくお願いたします。（大田 忠広）

次回の議会だよりは、議会日程の都合により11月10日発行となります。

問題①二・二六事件
問題②双葉山
問題③サントリー角瓶

答え
（大田 忠広）

歴代白川村議会 | 正 | 副 | 議 | 長 |

歴代議長

代	氏名	就任年月日	退任年月日
31	川田 裕	平 21.5.7	平 23.4.27
32	高桑 徹司	平 23.5.6	平 25.5.5
33	新谷 保雄	平 25.5.6	平 27.4.27
34	森崎 敏克	平 27.5.7	平 29.5.7
35	上手 英二	平 29.5.8	現在

歴代副議長

代	氏名	就任年月日	退任年月日
31	高桑 徹司	平 21.5.7	平 23.4.27
32	新谷 保雄	平 23.5.6	平 25.5.5
33	森崎 敏克	平 25.5.6	平 27.4.27
34	上手 英二	平 27.5.7	平 29.5.7
35	大田 貢	平 29.5.8	現在

議会探検隊募集（議会傍聴です）

議会議員が心より皆様をお待ちしております。一般質問で戦う私たちを、応援して下さい。

声は、出せませんが

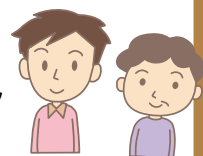
記

日時 平成29年9月定例会 一般質問日

（開催予定 10月2日（月） ※変更がありましたらご連絡いたします。

定員 先着10名様

締切 10月2日 9時までですが、定員に達している時は、お断りする場合があります。



申込先 白川村議会事務局または、総務課まで